



# かみさと 議会 だより

- ◇議長・副議長就任あいさつ …P 2
- ◇5月臨時会の審議状況 ……P 3
- ◇6月定例会の審議状況 ……P 4
- ◇7月臨時会の審議状況 ……P 7
- ◇6月定例会一般質問に4人 …P 8
- ◇9月定例会会期日程等 ……P12

未来に向かい走り続ける

88

古代蓮の池  
(金久保地内)



# 第2回 5月 臨時会

5月13日



■議長に猪岡壽議員、副議長に黨浩之議員を選出  
■一般会計補正予算(新型コロナウイルス感染症に係る応援  
給付金事業等)を可決

5月臨時会は、5月13日の1日間の会期で行われ、議長選挙、副議長選挙、町長提出議案等5件を審議しました。

5月臨時会における  
猪岡議長就任あいさつ



去る、5月13日臨時議会の議長選挙におきまして議長の要職を賜りました。就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

少子高齢化による人口減少問題が大きな課題となっている中、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済活動の急減速は、停滞している

日本経済に更に大きな打撃を及ぼしております。

これらに対し日本政府も緊急経済対策として、一律一人10万円の支給を盛り込んだ総額25兆円規模の補正予算を計上いたしました。上里町でも町民の暮らしと健康を守る緊急施策パッケージとして、総額6877万7千円の補正予算を議会の承認を得て実施し、経済的に打撃を受けた住民の皆様への支援策といたしました。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、人口減少抑止のための地方活性化対策、防災対策、少子高齢化対策など地方自治体に課せられた課題は山積しており、議会が果たさなければならぬ責任は、今後も益々大きくなってまいります。

私たち議会は、常に町民の福祉と生活の向上、そして町の発展のため、町長をはじめとする執行部と対話を重ね、これからも住み良い街づくりに向け鋭意努力をまいりますので、町民の皆様のご支援とご協力をよろしく申し上げます。

5月臨時会における  
黨副議長就任あいさつ



令和2年第2回・臨時会において、議員の皆様ごの支持を承り、副議長を務めることとなりました。誠に光栄であるとともに、その職責の重さを深く感じ、改めて身の引き締まる思いであります。

上里町が誕生し、来年で50年を迎えます。この半世紀、人口減少・少子高齢化の進行、気候変動に伴う自然災害の激甚化、人々の働き方・教育・暮らしを変えてしまう感染症の発生など、年々変化する社会環境の中で議会の果たすべき役割は一層重要であると感じております。介護、福祉、教育、防災など多くの課題が山積されている中、町民の皆様への負託にこたえるため、議長を支え、若者には希望を、お年寄りには安全を、子ども達には愛と夢を与えられる上里町を願い、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

# 5月臨時会で審議された内容をお知らせします。

## ◆ 専決処分 ◆

専決処分の承認を求めると

**承認第1号** 上里町税条例等の一部を改正する条例

(3月31日専決処分)

**要旨** 主な改正点は、個人住民税に関して、未婚の独り親に対する税制上の措置及び寡婦控除の見直しと、固定資産税に関して所有者が特定できない土地などについて、使用者を所有者とみなして課税できるようにすることとしたもの等です。

**承認第2号** 上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (3月31日専決処分)

**要旨** 主な改正点は、国民健康保険税について、医療給付費分課税額に係る課税限度額

を引き上げるもの、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定における被保険者の数に乘すべき金額を引き上げるもの等です。

**承認第3号** 上里町税条例の一部を改正する条例

(4月30日専決処分)

**要旨** 主な改正点は、附則に新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例に係る手続について加えたもの等です。

**承認第4号** 令和2年度上里町一般会計補正予算(第1号)

(5月1日専決処分)

**概要** 歳入歳出それぞれ31億4867万1千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ119億7647万1千円とするものです。

歳出の補正内容は次のとおりです。

りです。

- ・特別定額給付金事業 31億541万5千円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金事業 4325万6千円

### 用語 専決処分

本来議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。緊急の場合の専決処分については、次の議会で承認を求める必要がある。

## ◆ 令和2年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第2号)

**概要** 歳入歳出それぞれ6822万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ120億4469万8千円とするものです。

歳出の補正内容は次のとおりです。

りです。

- ・町内商工業者応援給付金事業 5370万円
- ・ひとり親家庭等応援給付金事業(ひとり親家庭等医療費受給世帯分) 856万4千円
- ・ひとり親家庭等応援給付金事業(就学援助費受給世帯分) 235万3千円
- ・災害対策事業 361万円

## ◆ 選挙 ◆

上里町議会議長の選挙

- 猪岡 壽 議員 7票
- 高橋 仁 議員 4票
- 齊藤 崇 議員 1票
- 白票 1票

上里町議会副議長の選挙

- 黛 浩之 議員 7票
- 仲井 静子 議員 2票
- 高橋 茂雄 議員 1票
- 白票 3票

## 5月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	黛 浩之	高橋 茂雄	高橋 勝利	飯塚 賢治	仲井 静子	猪岡 壽	齊藤 崇	植原 育雄	植井 敏夫	高橋 正行	納谷 克俊	沓澤 幸子	高橋 仁	新井 實	結果
専決処分の承認を求めると(上里町税条例等の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めると(上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	承認
専決処分の承認を求めると(上里町税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めると(令和2年度上里町一般会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
令和2年度上里町一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

# 第3回 6月 定例会

6月5日～15日



■令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算を可決  
■農業委員会委員14名の任命に同意

6月定例会は、6月5日に開会され、議員4名の一般質問と町長提出議案27件他を審議して15日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

## ◆ 選挙・選任 ◆

常任委員会委員の選任  
議会運営委員会委員の選任

**要旨** 総務経済常任委員会及び文教厚生常任委員会、議会運営委員会の委員が改選されました。

各委員会の構成については下表をご覧ください。

児玉郡市広域市町村圏  
組合議員選挙

**結果** 指名推薦により猪岡壽議員、黛浩之議員が当選

本庄上里学校給食組合  
議員選挙

**結果** 指名推薦により飯塚賢治議員が当選

## ◆ 条例 ◆

上里町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例

**要旨** 「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」の一部が改正される法律」の一部が改正され、行政手続のオンライン化等に関して必要な改正をします。

上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**要旨** 地域型保育事業所卒業後も引き続き教育・保育の提供を受けることができる場合には、卒業後の受入先確保のための連携施設の確保は不要とすべきとされたことについて

て、所要の改正を行うものです。

上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**要旨** 卒業後の受入先確保のための連携施設及び居宅訪問型保育事業者が保育を提供できる場合に関する定めについて、所要の改正を行うものです。

上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**要旨** 中核市も放課後児童支援員の認定資格研修を実施できることとされたことについて所要の改正を行うものです。

## 上里町議会構成表

令和2年6月8日現在

議長 猪岡 壽  
副議長 黛 浩之

区分	委員長	副委員長	委員				
総務経済常任委員会	高橋 茂雄	植原 育雄	新井 實	沓澤 幸子	高橋 正行	植井 敏夫	黛 浩之
文教厚生常任委員会	仲井 静子	高橋 仁	納谷 克俊	齊藤 崇	飯塚 賢治	高橋 勝利	猪岡 壽
議会運営委員会	新井 實	沓澤 幸子	納谷 克俊	高橋 正行	齊藤 崇	飯塚 賢治	

上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

**要旨** 国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症に感染などした被用者に傷病手当金を支給するため、所要の改正を行うものです。

上里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

**要旨** 後期高齢者医療において、新型コロナウイルス感染症に感染などした被用者に傷病手当金を支給するため、所要の改正を行うものです。

上里町介護保険条例の一部を改正する条例

**要旨** 低所得者である第1号被保険者の保険料の減額に係る基準を新たに定めるものです。

## ◆ 人 事 ◆

農業委員会委員の任命につき同意を求めるところ

**要旨** 農業委員会委員の任期が令和2年7月19日で満了となるため、新委員の任命にあたり議会の同意を求めるところです。

- 小林 雄一氏（八町河原）
- 塚本 房雄氏（七本木）
- 戸矢 活夫氏（藤木戸）
- 杉山 登氏（帯刀）
- 馬場 弘次氏（勅使河原）
- 金井てる子氏（嘉美）
- 小林加代子氏（堤）
- 尾崎 保幸氏（神保原町）
- 藤島 廣二氏（神保原町）
- 蓮 博政氏（大御堂）
- 坂本 茂氏（七本木）
- 岩田 保氏（金久保）
- 吉澤 英彰氏（勅使河原）
- 伊藤 裕氏（長浜）

固定資産評価審査委員会委員の選任

**要旨** 委員である阿部甚一氏が令和2年7月21日で任期満了となるため、後任に大字忍保の志田茂氏を選任することに同意を求めるところです。

## ◆ その他 ◆

埼玉県市町村総合事務組合の規約変更

**要旨** 「鴻巣行田北本環境資源組合」を「彩北広域清掃組合」に改める改正を行うものです。

## ◆ 令和2年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算（第3号）

**概要** 歳入歳出それぞれ1億8325万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ122億2795万6千円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・小学校教育振興事業（1C）
- ・環境整備業務委託料・教育用機器賃借料）※
- 1億143万円
- ・中学校教育振興事業（1C）
- ・環境整備業務委託料・教育用機器賃借料）※
- 5498万5千円
- ・介護保険事業（高齢者分）
- 898万2千円
- ・児玉工業団地アクセス道路事業
- 731万8千円
- ・道路維持補修事業
- 633万6千円

上里町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

**概要** 歳入歳出それぞれ340万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ28億1747万円とするものです。

上里町介護保険特別会計補正予算（第1号）

上里町下水道事業会計補正予算（第1号）

## ◆ 意見書 ◆

公立・公的病院の統廃合計画の撤回を求める意見書（案）

保健所の増設と機能強化を求める意見書（案）

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書（案）

### ※用語

GIGAスクール構想 学校における高速大容量に対応した校内LAN環境の整備（委託料）と、児童・生徒一人一台の端末配備（賃借料）により、新たな時代を担う人材の育成を目指すもの。

# 6月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	結 果
上里町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
上里町介護保険条例の一部を改正する条例	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（小林雄一氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（塚本房雄氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（戸矢活夫氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（杉山登氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（馬場弘次氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（金井てる子氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（小林加代子氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（尾崎保幸氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（藤島廣二氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（蓮博政氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（坂本茂氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（岩田保氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（吉澤英彰氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること（伊藤裕氏）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	同意
令和2年度上里町一般会計補正予算（第3号）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
令和2年度上里町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
令和2年度上里町介護保険特別会計補正予算（第1号）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
令和2年度上里町下水道事業会計補正予算（第1号）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
固定資産評価審査委員会委員の選任	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
公立・公的病院の統廃合計画の撤回を求める意見書（案）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
保健所の増設と機能強化を求める意見書（案）	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書(案)	猪岡 壽 齊藤 崇 植原育雄 植井敏夫 高橋正行 納谷克俊 沓澤幸子 高橋 仁 新井 實	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

**3**

**人権侵害及び風評被害への対応について**

影響を受けている中小企業や個人事業主等を速やかに把握し、国・県の各種支援制度を周知するとともに町独自財源も利用し、効果的な支援策を積極的に進めること。

**2**

**経済対策について**

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報を収集し、町民に対し有益な情報開示を行い、情報共有を図ることで感染拡大を防止することなど。

**1**

**感染拡大防止対策の強化・徹底について**

新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルス感染症から町民の生命と健康を守るため、町長に5項目からなる要望書を提出しました。

主な内容は以下のとおりです。



災害などの避難所開設時の  
コロナ感染防止策などの危機  
管理体制に必要な設備や物資  
の確保を図ることなど。

### 5 危機管理対策について

医療従事者、高齢者・障がい者等福祉施設に対する財政的支援策を行うことなど。

### 4 医療・福祉体制支援について

感染者と同居家族、濃厚接触者及び医療関係者等が差別や偏見、誹謗中傷による風評被害を受けないよう、啓発の強化を図ることなど。



## 令和2年度一般会計補正予算(新型コロナウイルス感染症対策応援事業等)を可決

## 第4回 7月臨時会

7月28日

7月臨時会は、7月28日の1日間の会期で行われ、町長提出議案2件を審議しました。臨時会で審議された内容をお知らせします。

### ◆令和2年度補正予算◆

上里町一般会計補正予算(第4号)

概要 歳入歳出それぞれ

4億6744万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ126億9540万3千円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・新型コロナウイルス感染症対策応援事業(教育費) 8581万4千円

・町内消費活性化推進事業 8576万円

・水道経営健全化事業(新型コロナウイルス対策水道料金等減免に要する経費) 8410万1千円

・地方創生推進事業(キャッ

シユレス決済推進事業委託料) 5500万円

・中小企業制度融資等利子及び信用保証料臨時補助事業 4339万2千円

・災害対策事業 3670万円

・新型コロナウイルス感染症対策応援事業(老人福祉費) 2513万3千円

上里町水道事業会計補正予算(第1号)

要旨 新型コロナウイルス対策で、水道基本料金及びメーター使用料の減免を実施するために、営業収益を減額、一般会計からの補助金として営業外収益の増額等を行うものです。

## 7月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	結果
令和2年度上里町一般会計補正予算(第4号)	結 果	可決
	新井 實	○
令和2年度上里町水道事業会計補正予算(第1号)	高橋 仁	○
	高橋 正行	○
	納谷克俊	○
	沓澤幸子	○
	植原育雄	○
	植井敏夫	○
	高橋正行	○
	齊藤 崇	○
	猪岡 壽	○
	仲井静子	○
	飯塚賢治	○
	高橋勝利	○
	高橋茂雄	○
	黨 浩之	○
	議 長	○

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。



# 沓澤 幸子

## 問 国の臨時交付金を活かした支援策を

### 答 感染症の動向を注視し取り組みたい

#### 1 新型コロナウイルスについて

**問** 新型コロナウイルスの長期対策として、身近でPCR検査が出来る発熱外来の設置や軽症感染者が療養できる宿泊施設の確保を、医師会や広域市町村で協議し県に要請しては。また、町の予定行事の変更は早めに判断を示す考えは。

**答** 軽症者の宿泊施設の設置や管理運用は県が行い、県内に500室超の宿泊施設が確保されているので、慎重に考えてみたい。PCR検査は、本庄・児玉郡医師会が実施しています。イベントの開催は、準備が必要な大きな事業は、早急に判断したい。

**問** 町の第2弾の支援策として、水道料金の軽減や無料化、国保税・介護保険料などの軽減、学校給食費・教材費の無料化、3歳未満児の保育料軽減などは。国の臨時交付金1兆円の町への交付金は約1億円です。国の第2次補正

は2兆円。これを活かす支援策は。

**答** 緊急な子育て支援策として、給食費の無償化も考えられるが、慎重に検討している。町民全体への影響として、水道料金軽減の検討も必要と思うが、国の第2次補正予算や感染症の動向を注視し取り組みたい。

#### 2 長引く休校の下での学びの保障について

**問** コロナ感染症対策として、学校の身体的距離の確保は可能か。国の2次補正予算は、全国の小中高校と特別支援学校に、最低100万円支給と教員加配費用など総額約774億円です。学習の遅れと格差には、一人ひとりに丁寧に教えることが不可欠です。少人数学級の見解は。

**答** 教育長 30人、35人以上のクラスも学校によっては、1〜2クラス存在し、大きな教室への移動を指示しています。少人数学級や協議し合い

ながらの学習が効果的であることは承知しています。より効果的な授業形態や方法を検討していきたい。

**問** 学びの保障として、長期休業の短縮の他にどの様な方法で確保しますか。また、行事の変更においては、実施方法も含め子ども達の意見を聴く場の保障を。

**答** 教育長 臨時休業は合計で50日間であり、夏期・冬季休業の短縮と、行事の精選、始・終業式日の授業実施で確保。行事を通しての教育活動は大事で、学校で創意工夫しながら取り組みます。



小学校授業の様子

**問** 感染症対策として、消毒等の衛生管理と健康チェックなど、全て教員負担は困難です。清掃等の人員が必要では。

**答** 教育長 多くの児童・生徒が手を触れる場所やトイレ等、消毒液を使用しているも現在は教職員が行っています。清掃人員については今後検討したい。

**問** 3 防災学習会の実施とウイルス対応

**答** GIGAスクール・ICT活用等でも先生方の負担が予想され、働き方改革で教員の増員が図れるか検討する。

**問** 町長表明の、河川流域地域を中心とした学習会の実施方法と、コロナ禍の中の安全な避難方法等の準備は。

**答** 防災学習会は、感染の蔓延により、公報やホームページで周知を図りながら開催を調整したい。感染症対策としては、有効な備蓄品の充実と、専用スペースの確保の把握に努めています。



## 納谷 克俊

## 問 上里町独自の経済対策は

## 答 適切なタイミングで実施したい



**1** 町独自の経済対策拡充について

**問** 他市町村では水道基本料金の減免やプレミアム商品券の発行、制度融資の保証料の一部負担などの施策があります。今後、町ではどのような経済対策を考えていますか。

**答** それぞれの業態において必要な支援を段階的に講じる必要があります。適切な事業を適切なタイミングで実施していきたい。

**2** 質問 小中学校の臨時休業長期化による児童・生徒の学習の遅れ、体力低下とストレス軽減への対応について

**問** 未実施の授業日数を、長期休業の短縮と各種行事の見直しにより、どの位カバー出来るのでしょうか。

**答** 教育長 夏季、冬期休業の短縮で19日間授業日を作ります。また終業式や始業式にも授業を行ったり、行事の精選により、ぎりぎりカバー出来ます。

**問** 児童・生徒の体力低下が懸念されるとともに、通常よりも多くのストレスを抱えている児童・生徒も相当数存在することが予想されます。

また、保護者の受けているストレスも非常に大きいと思いますが、教育委員会ではどのような施策を考えていますか。

**答** 教育長 臨時休業中はストレッチやウォーキングなど簡単な運動に取り組めるよう県教委作成の運動取組カードを各学校で配布し、体力低下を防ぐ対応をしました。学校再開に当り、体育の授業も限定されるので、新型コロナウイルス感染拡大の状況を注意深く見ながら、体力向上についても取り組んでいきたい。ストレス軽減については、学級担任等を中心として、自宅で過ごす児童・生徒及びその保護者と連絡を取り、定期的に心身の健康状態を把握することを行いました。これからも学校と家庭の連絡を密にとり、適宜相談に乗るなどし

て、児童・生徒のストレス軽減に努めます。



小学校体育の授業の様子

**問** 学校にはエアコンが完備されていますが換気のためドアを開けておくとのことですが、また、登下校もアスファルトが暑く、熱中症対策が必要ですがどの様にお考えですか。

**答** 教育長 気温が35℃を超えた場合は授業をしないなど、健康面について配慮しています。安全・安心して学校生活を送れるように環境を考えていきたい。

**問** 登下校時にこむぎっちゃんを使えないでしょうか。また、スクールバスの委託は出来な

いででしょうか。

**答** スクールバスになると密室になるので、ソーシャルディスタンスが取れるのかも含めて検討したい。

**問** ICTの活用によりリモート授業が可能になると思います。今後の整備スケジュールについて伺います。

**答** 教育長 国のGIGAスクール構想に基づき、学校における高速大容量のネットワーク環境と1人1台端末を早急に整備していきたい。

**3** 質問 危惧される感染拡大の第2波、第3波に向けた備えについて

**問** コロナ感染症のパンデミックと同時に自然災害が発生することも視野に入れた対策も必要ではないか。また、町の業務継続や諸行事についての検討はなされているのでしょうか。

**答** 課題は山積していますが優先順位をつけて判断していきたい。



# 高橋 勝利

## 問 臨時休校に伴う授業の遅れについて

答 夏季・冬季休業の短縮、行事の精選を行ってまいります

### 1 新型コロナウイルス対策について

**問** 新型コロナウイルス発生  
の初期段階の対応についてお  
聞きます。

**答** 臨時休校が決定されたのが2月28日の事です。議員の皆様にはその日のうちにメールでお伝えしております。区長にはその三日後である3月2日に、各地区総会の開催方法と休校をお伝えしています。

**問** 感染者のその後の動向はつきりしないまま町内では様々な憶測が流れ町民の不安は大きかった。差支えがなかったら説明して頂きたい。

**答** 県で記者発表した内容が町の知り得るところであり、住所氏名など個人情報も県が市町村に伝えない事になっており、町も知り得ない情報となります。プライバシーの配慮、人権に配慮する事が町の役目です。

**問** 町の自粛要請に町民がどれだけ応じたか把握している

のか。

**答** どれだけ応じたか単純に分析する事は難しいと思えます。町長メッセージの毎戸配布、広報で啓発を重ねることによって町民の意識も向上し、通常から見れば閑散とした状況でありました。

**問** 商工業者応援という事を町が決めた事は非常に喜ばれているが、対象者には丁寧な説明と、細々と店を開き地域の人とつながりややってい

くなくなったら町は破滅です。  
**答** 周知は毎戸配布し完璧とは言わないまでもやっていま



すし、商工会もロコミ等含めてやっていただいております。現在71件355万円の振込予定があります。

**問** 小中学校の卒業式への保護者同伴出席を求める署名が三千五百名分出されたことについて、教育委員会は閉鎖的でないと思っておりますが、代表者との面談も必要ではなかったか。

**答** 教育長 児童生徒の安全確保の為卒業生、教職員のみで挙行致しました。安全を最優先に、記念になるDVDの撮影配布を行いました。改めて開かれた学校づくりを推進し学校、保護者、地域のより良い関係の為に日頃からご意見を聞きやすい、話しやすい体制造りを図ってまいります。

**問** 臨時休業に伴う授業の遅れについて対応策をお聞きます。

**答** 教育長 夏季休業や冬季休業の期間短縮や行事の精選を行ってまいります。六年生は通学班と関係なく1日から毎

日授業を行い、中学校は出席番号奇数、偶数等に分けて午前または午後毎日登校して勉強できる体制を取っております。

**問** 特別定額給付金に係るドメスティックバイオレンス対応についてお聞きます。給付には町も十分に注視して頂きたい。

**答** この件については当初から担当課と協議しまして間違いないと当事者に給付金が渡るように細心の注意を払ってやっておりますのでご安心頂ければと思っております。

**問** タブレット端末導入についてお聞きます。国の方針で一斉休校が実施され、今迄にない経験です。高学年の子どもは、インターネットなどでコミュニケーションを取るものが報じられていますが、早急に町でも端末の導入をお願いしたい。

**答** 教育長 高速大容量ネットワーク環境と一人一台端末の整備を推進してまいります。



## 仲井 静子

## 問 「おくやみガイドブック」配布について

答 現在、準備を進めている

## 1 「おくやみガイドブック」について

**問** 死亡に伴う手続きは、申請書の種類も関係窓口も多く、ご遺族は、悲しみの中で行わなければならない。一つの窓口で完了するワンストップシステムの構築は、町民サービスの向上に向けて是非とも取り組んでいただきたい。

**答** 死亡に関する手続きは非常に多岐にわたり、また死亡された方により手続き内容も異なりますので、遺族にとつては大きな負担であると考えている。しかし、死亡受付件数や職員の配置、システム構築等の費用などの課題がある。

## 2 「おくやみハンドブック」配布について

**問** 近しい人が亡くなった時、葬儀のことだけでも手いっぱい。一番煩わしいのが死後の手続き。身近な方がお亡くなりになると、役場での各種手続きのほか、役場以外での手

続きも必要になる。町民にとってまさに複雑で非常に分かりにくいと言つ声に耳にする。このような状況の人に対して役場で行う手続き一覧表・役場以外で行う手続き一覧表を作成し、必要な人に配布する考えがあるか。

**答** 現在、町では関連手続きを分かりやすく一覧表にしたものを関係課と調整しながら作成し、配布できるように準備を進めている。まずは、どのような手続きが必要なのかチェックシートで確認し、必要な手続きに進んでいただく、役場以外での手続きに関しても、わかりやすく案内できるように記載する予定。

## 3 ホームページの活用について

**問** ホームページに「おくやみガイドブック」を掲載しては。

**答** 「おくやみガイドブック」と同じ内容のものを町のホームページに掲載し、ダウンロードをして活用できるように

## 4 タブレット端末の活用について

予定している。また、お悔やみのページから必要な手続きをクリックすれば各課担当のページに移行できるように充実を図っていききたい。

**問** タブレット端末を利用した窓口サービスの導入は。

**答** タブレット端末の導入は、様々なメリットがあると思ひますので、費用対効果を考慮しながら考えていく必要があると認識している。

## 5 エンディングノート作成について

**問** エンディングノートは、

人生の終焉をどう迎えたいか、家族に何を伝えたいかなど、自分のこれまでの人生を振り返り、気持ちや財産管理等の整理ができるものであって、遺言書とは異なり気軽に書けるメッセージになるもの。これらを書き残すことで、突然入院した時・相続の時・そして

で自分にもしものことがあった時など、不安を解消するための支援にもつながる。いつかは必ず身近な方がお亡くなりになる時が訪れる。その現実を受け止められない、つらく悲しい状況の中で、様々な手続きに追われることになる。終活支援事業は重要な町民サービスであると思う。

**答** 終活の中であらかじめ整理しておく事柄は相当程度集約できると考えている。そこで、こうした事柄をこれから配布する「おくやみガイドブック」の中にとめて記載し、エンディングノートの要素を兼ね合わせる事も考えている。



